

取扱いの趣旨

歯肉炎（G）に対する一定の治療終了後に、患者の様態等によっては、継続的な管理のみで再発防止及び重症化予防を行う場合もあることから、「G」のみでの歯科疾患管理料のみの算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【医学管理等】

《令和2年9月28日》

1 歯科疾患管理料

○ 取扱い

原則として、診療開始日から4か月以上経過した患者に対して、「G」病名のみで、歯科疾患管理料のみの算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

歯科疾患管理料は、継続的管理を必要とする歯科疾患を有する患者（有床義歯に係る治療のみを行う患者を除く。）に対して病状が改善した歯科疾患等の再発防止及び重症化予防のための継続管理を評価したものであることから、歯肉炎に対する一定の治療終了後に、患者の様態等によっては、継続的な管理のみで再発防止及び重症化予防を行う場合もある。

○ 留意事項

処置等の算定がない歯科疾患管理料のみの算定が傾向的に見られる場合にあっては、医療機関に対する照会が必要であると思われる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯科疾患管理料を算定しているレセプト1万件当たり、条件（初診月から4か月が経過し、再診のみで他の診療行為の算定がなく、Gのみに対して歯科疾患管理料を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯科疾患管理料が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

請求どおり			: 取扱いどおり
査定 審査委員	査定 職員契機	返戻	: 検証が必要

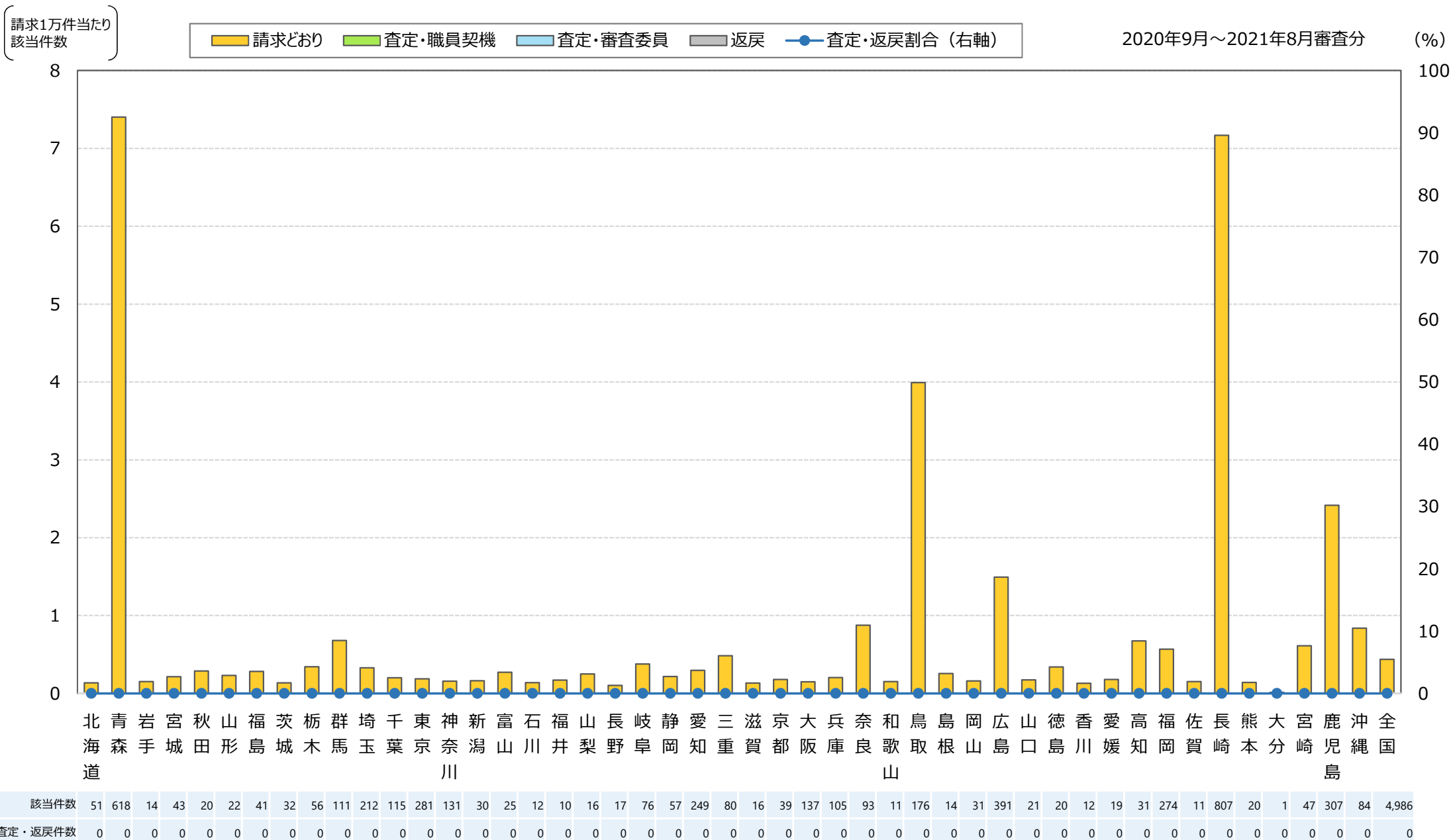
審査結果の概要

➤ 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている。

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が高い支部	—	
査定・職員契機	—	
査定・審査委員	—	
返戻	—	
該当件数（全国）	初診月から4か月が経過し、再診のみで他の診療行為の算定がなく、Gのみに対して歯科疾患管理料を算定	4,986件
取扱いに基づく審査	請求どおり	4,986件
検証を必要とする審査	査定・返戻の計	0件

事例1 「G」のみに対する歯科疾患管理料の取扱い

【認める事例】



【該当件数】 初診月から4か月が経過し、再診のみで他の診療行為の算定がなく、Gのみに対して歯科疾患管理料を算定しているレセプト件数